

会 議 報 告 書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会 議 名	平成 25 年度 第 3 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 25 年 8 月 7 日（水） 10 時 00 分～13 時 10 分
開催場所	益田市匹見総合支所 大会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none">・ 匹見地域協議会委員（9 名）、久保議員・ 山本市長、川原経営企画部長、福原政策企画課長・ 村川教育長、林教育部長、大畑教育総務課長・ 匹見総合支所：長谷川支所長 住民福祉課：靱田課長、藤井補佐、三嶋 地域づくり推進課：村上課長 建設課：露口課長

【協議事項】

(1) 新市建設計画の変更に関する事項について<資料 1 政策企画課長より説明>

- ・ 合併特例債の発行可能期間延長に併せ、新市建設計画の期間を延長。
- ・ 期間延長に併せ、主要指標の見通しについて最新の実績値及び推計値に基づく見通しに修正。
- ・ 期間延長に併せ、財政計画の策定方針や方法等について変更。

《質疑》

- 合併特例債は 3 等分と言えるレベルではない、どのように使ってきたのか。その説明と、今後どのように対応されるのか。
 - ▷ 3 等分という表現は対等合併の精神を表した象徴的な言葉であった。しかし、いくつか起債がある中、後年度の負担も考慮し一番有利な起債を活用した結果がこうなっている。また、3 地域が同じメニューで特例債を発行するにしても、道路延長や範囲も広いということから差が出ている。今後、残りの 48 億円についても全体を見た中で考えていきたい。
- 新市建設計画について、24 年度までのところでどの程度進んでいるのか？ 今回の協議は期間延長だけでなく見直しも含めるのか？
 - ▷ 新市建設計画は現時点ではまだ整理できていない。ただ、今年後半からこれまでの間を評価する予定。それを踏まえて、新たな 5 年間の計画内容に見直しの必要があれば着手したい。なお、根拠法は違うが新市建設計画を踏襲した第 5 次総合振興計画を策定しており、その実施計画（数字積み上げのもの）は毎年作成し、進捗管理をしている。
 - 今回は、期間延長を中心に提案させていただいている。中身の変更については地域の声を聞きながら取り組みたい。ただ、現計画の内容は大括りな表現になっており、ある程度の事業は拾える。
- 10 年経つ中で、計画の内容は見直していくべき。

- 合併時匹見町が抱えていた課題は現在どのように位置づけられ、今後この期間延長によってどうなるのか？本当の懸案事項はまだまだたくさん残っている。そのあたりはどのように考えているのか。
 - ▷ 合併後 10 年間の総括・評価はこれから取り組む。
- 合併特例債は過疎債・辺地債と並べて一緒に考えるものではない。地域が何を必要としているのか拾い上げる努力を。
 - ▷ 事業実施の際には、形式的に合併特例債を 3 等分に近づけるために優先的に使うのではなく、そのときどきで一番有利なものは何かというところから選んできた。事業をどの程度まで起債によって行っていくかということも、市全体の中で見た優先順位や重要性ではかることだと考えている。ただし、特定の地域が後回しになっていいとは思っていない。今後も、地域の課題解決のためにも地域の実情を踏まえた中で必要な事業を合併特例債を活用して実施していきたい。
- 事業実施を人口で考えないでほしい。
 - ▷ 人口割で均等という考えは持っていない。むしろ中山間地域の維持こそ市全体の維持につながると考えている。そうしたことを理解したうえで市全体の均衡ある発展を考えていきたい。
- 市全体で見ると優先度は低くてもその地域にとってそれが最も重要なものであるなら、そこは採択しないと地域振興にはならない。今地域が何を望んでいるのかしっかり考えてほしい。
- 合併後 10 年、想定以上に人口減少、高齢化が進行している。この機会にぜひ施策を見直してほしい。
- 交付税がこれから減っていくと思うが、特例措置期間中の交付税（匹見町分）はどの程度匹見に還元されたのだろうか？まったく見えてこないが。
 - ▷（委員より）全体事業の中からそれを抽出するのは大変な作業であろうと思う。だから、今日の意見を踏まえながら今後予算措置していただきたい。配慮をお願いしたい。

【報告事項】

(1) 益田市学校給食センター等整備事業について<資料 2 村川教育長より説明>

- ・議会に了承を得た内容を説明
- ・この整備にあたっての強い思いとしては、「安全」と「食育と地産地消」。できるだけ地元産の食材を用いて地域の農業振興や消費につなげていくよう取り組みたい。組織立ち上げも検討中。
- ・26 年度の 3 学期同時オープンを目指す。

《質疑》

- 合併時のいきさつをみても、今後の財政に与える影響を考えても 1 箇所にするべきだったと思う。
 - ▷ 今回美都調理場を残したのは、美都調理場が中山間地域にあり、地域に与える打撃が大きいということが大きな理由。市長として、中山間地域にあるものはできるだけ維持したいという思いの中での決断。それは匹見にも同じことがいえる。ぜひ、そうした受け止め方をしてほしい。

(2) その他

■国道 488 号広見区間の通行止めの状況について<島根県より説明>

- ・平成 23 年 4 月以降大きな落石は 3 箇所。これによる全面通行止めは約 14 キロ。週に 1 回パトロールを実施している。迂回路は広域と地域内とそれぞれ設定している。

- ・なお、島根県側広島県側両方とも入口には施錠をしているが、入場届を提出すれば入場は可能。ただし、通行の際には安全への配慮をお願いしている。
- ・点検の結果、落石の危険性が高いということが判明しており、現時点では復旧は未定。
- ・復旧には長期間の工事期間と多額の工事費がかかる見通し。

《質疑》

●許可書の手続きはどこで？いちいち益田に行かなくてはいけないのか？

- ▷ 県土整備事務所でお願いしている。ただし、個別に相談に応じたい。

●広島県側から知らずに侵入し、バリケードで引き返す話をよく聞く。観光の面でも匹見峡は景勝地として有名でお客さんも多い。通るのに時間がかかるのであれば、まずは徹底した周知をするべき。

- ▷ 広島県側と協力して対応したい。

●遊歩道も通行止め？

- ▷ (市で回答) 現在は通行を許可しているが、8月下旬から危険箇所改修工事に取り掛かる。

●県は488の今後について実際どのようにお考えか？

- ▷ 県の中でも方向性がまとまっていない。ただ、まずは益田市内と匹見地域を結ぶ間や他の路線を優先して事業実施している状況。

●いつまでもこのままでいいとは思えない。国道でおいとくならきちんとすべきだし、そうでなくて一部を国道から格下げをすとか、そういう議論をする時期に来ているのでは？匹見峡を殺さないためにも路線変更も視野に入れた対応をお願いしたい。地元の住民が理解したうえで進められるように。

【市長を交えての意見交換会】

●支所職員について、できるだけ地元の職員は地元で雇用してほしい。手当の面でも節減になるし、支所は匹見の中では大きな雇用の場。そうしたことも考慮した人員配置をお願いしたい。

- ▷ 基本的に居住地と勤務地はなるべく近いほうがいいとは思っている。ただ、匹見支所を匹見出身職員だけにするという事は、お互いの地域を知ることができなくなってしまう。市全体を広く見渡せる職員が1人でも多く育つことが一番大きなメリットとして考えている。ただ、住民の方の来やすさなども念頭に置いて進めたいと思う。

【地域協議会内の意見交換会】

福祉タクシーについて

●今匹見の人が帰って福祉タクシーを継いでがんばってくれている。ただ、車の更新など何かと経費がかかり、本人への負担が大きい。基金でそれをみることができなだろうか。

●タクシー購入助成は難しいだろう。だが、基金にこだわらず市の会計からでも後継者づくりの一環として別の形の助成を検討していただきたい。

- ▷ 行政の立場的に民間業者でもあるので直接助成することは難しい。しかし福祉部分を担っていただいているということもあり、交通の確保ということで、別サイドで検討したいと考えている。それは福祉タクシーの運営手法含めて今後協議していく。

温泉での地産地消について

- 温泉は大きな消費が期待できる施設。そこが町外から仕入れていては地元の経済も停滞するばかり。ぜひ
匹見産の食材を使うよう働きかけをして頂きたい。
 - ▷ 現状でもかなり努力いただいている。今後とも引き続き地産地消推進の立場に立ち検討したい。
- 温泉の赤字は市が補填することになる。黒字にするために温泉も大変。そうしたことから、地元もでき
るだけ安く仕入れる努力をするべき。
 - ▷ 経営が厳しい中ランニングコストを抑える努力をしている。しかし、地産地消の考え方にたち、仕組み
づくりから検討していかなければいけないと思っている。
- お互いが企業努力しながら双方成り立つよう、協議の場を持ちながら調整をしていただきたい。
 - ▷ 温泉は活性化の核施設でもある。地元商店街や農業生産者と連携できる体制づくりをしていきたい。

【その他】 *支所から

匹見地域道路整備促進期成同盟会（仮称）について

- 匹見地域の更なる道路整備を図るため、新たに発足したいと考えている。その会員として地域協議会か
ら2名選出をお願いしたい。
 - ⇒藤谷会長（顧問）、齋藤委員で決定

旧第3林業の建物について

- 建物内にある機械を処分し、除雪車の車庫として活用したい。
 - ⇒委員了承